



平成 21 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社ラー・オー・ダブリュー
代表者名 代表取締役社長兼
最高執行責任者 (COO) 秋本 道弘
(コード番号 4767 : 東証一部)
問合せ先
役職・氏名 常務取締役兼執行役管理本部長
木村 元
電話 03-3502-8887

中期事業計画のお知らせ

当社は、平成 21 年 6 月期の実績を踏まえて、平成 22 年 6 月期から平成 24 年 6 月期までの中期事業計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の現状と広告市場の状況

当社の中期的視点における課題は、

- ①「代替わりに伴う課題の克服」
- ②「広告業界の低迷への対応」であります。

①につきましては、今期よりスタートした新社長・新本部長体制が、従来の役員体制に劣らぬ統率力と営業開発推進力を強化することこそが社全体の底上げに繋がるものであり、これまで以上の努力と時間を要するものであると考えております。

②につきましては、広告業界が 4 媒体（新聞・雑誌・ラジオ・テレビ）ばかりだけでなく、プロモーション分野におきましても大変厳しい状況で推移している一方で、顧客（廣告主）における「売り」への直接的な効果をプロモーションに求める傾向は引き続き強く、広告代理店におきましてもこれに対応すべく同領域の組織再編等対策強化を本格的に進めている状況です。当社グループにおきましては、上記広告代理店への対応を重視し、「新規営業窓口開発」「プロモーション営業推進」を大きな柱に、以下を基本戦略として実施してまいります。

2. 基本戦略

中期事業計画を達成するために、次の 5 つの戦略を重点的に進めてまいります。

- ① 営業力強化

- ・新本部体制の導入
- ・4マス広告→プロモーション時代の代理店施策への対応
- ・SPチームとの連携による新規銘柄への営業窓口開発

② プロモーション推進

- ・新SPチームの設置と各本部との連携強化
 - ～SPチームの専門的ノウハウ提供による、各本部の総合的プロモーションの共同営業&営業サポート
 - ～制作体制の充実による対応力拡大
 - ～各本部との連携力強化により、プロモーションノウハウの各本部間格差、チーム員格差を解消

③ 提案力強化

- ・異業種アライアンス
 - ～提案領域拡大、専門性強化、新モデル開発
- ・企画顧問契約の活用による商品開発
 - ～おちまさと氏とのメディア連動型プロモーションモデル開発
 - ⇒当社独自のプロモーション企画力の向上

④ 収益力強化

- ・コスト管理
 - ～制作管理チームによるコストマネージメントの強化
- ・教育
 - ～原価管理セミナーによる社員へのナレッジ強化
- ・子会社強化
 - ～㈱ティー・ツー・クリエイティブ対応力強化による収益力向上

⑤ モチベーション強化

- ・学資保険制度をさらに充実
 - ～支給金額（中学卒業時）が2倍の最大240万円に。
- ・育児手当
 - ～配偶者収入制限の撤廃⇒配偶者の収入に関係なく、育児手当を支給。
- ・その他
 - ～育児支援制度の拡充
 - ～新報奨制度（海外イベント研修、社長賞等）
 - ～モチベーション型休暇制度等を検討

3. 中期事業計画の連結目標

(単位:百万円)

項目	期別 2009/6 第33期(21/6) 実績	2010/6 第34期(22/6) 目標	2011/6 第35期(23/6) 目標	2012/6 第36期(24/6) 目標
売 上 高	14,210	14,310	14,410	14,910
営 業 利 益	1,401	1,221	1,173	1,244
経 常 利 益	1,392	1,207	1,159	1,230
特 別 損 益	※ 262	—	—	—
当 期 純 利 益	876	684	638	676

※東京都の再開発事業に伴ない本社移転を予定しており、特別利益として都からの移転補償金3億49百万円及び特別損失として移転費用56百万円を含んでおります。

※参考 中期事業計画の個別目標

(単位:百万円)

項目	期別 2009/6 第33期(21/6) 実績	2010/6 第34期(22/6) 目標	2011/6 第35期(23/6) 目標	2012/6 第36期(24/6) 目標
売 上 高	14,014	14,100	14,200	14,700
営 業 利 益	1,286	1,079	1,012	1,060
経 常 利 益	1,332	1,147	1,080	1,139
特 別 損 益	238	—	—	—
当 期 純 利 益	840	684	627	662

※ 上記の目標は、現時点での入手可能な情報に基づいて定めたものであります。従いまして、実際の実績は、今後の様々な要因によって上記の目標と異なる場合があります。

以 上